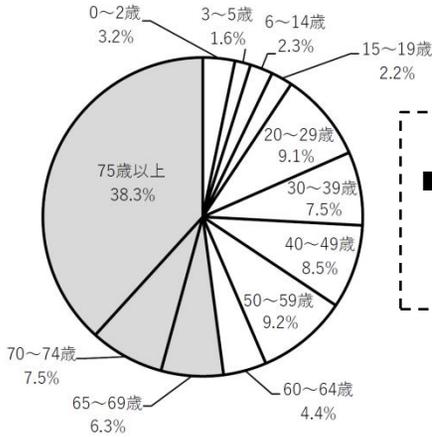


1 救急搬送について

出典:「救急活動の現況(平成30年)」東京消防庁

①年齢層別、性別搬送人員 (平成30年合計値)

年齢	0~2	3~5	6~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75以上
男	13,127	6,959	10,432	7,874	30,163	26,508	34,675	40,054	19,940	28,011	31,596	119,925
女	10,370	4,664	6,320	8,000	35,692	27,686	27,212	26,641	11,797	17,703	22,985	158,094
合計	23,497	11,623	16,752	15,874	65,855	54,194	61,887	66,695	31,737	45,714	54,581	278,019



■平成30年の搬送人員を年齢層別にみると、65歳以上の高齢者の搬送人員は半数以上を占め、75歳以上の割合が最多となっている。

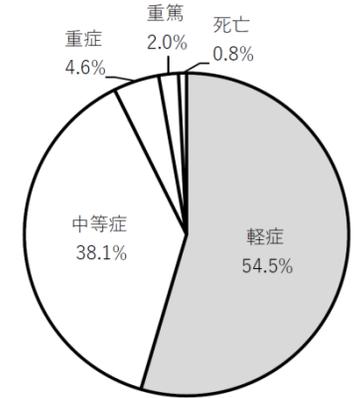
②高齢者搬送人員 (年間) の推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全搬送人員	664,629	673,145	691,423	698,928	726,428
高齢者	325,526	335,564	346,703	361,734	378,314
高齢者以外	339,103	337,581	344,720	337,194	348,114
高齢者の割合	49.0%	49.9%	50.1%	51.8%	52.1%

■65歳以上の高齢者の搬送人員は、平成26年から人数、割合ともに増加傾向にある。
また、高齢者の搬送元実績は平成26年度救急搬送実態調査によると自宅・外出先などが約84%(うち在宅療養患者約5%)、高齢者施設等が約7%、医療機関(転院)が約9パーセントとなっている。

③初診時程度軽症患者の割合 (平成30年合計値)

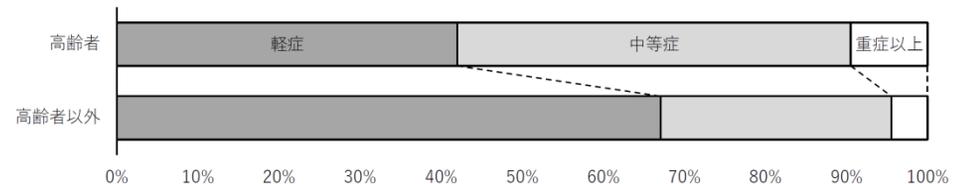
初診時程度	搬送人員	割合
軽症	396,204	54.5%
中等症	277,037	38.1%
重症	33,111	4.6%
重篤	14,246	2.0%
死亡	5,830	0.8%
合計	726,428	100.0%



■搬送人員のうち、初診時程度軽症が半数以上の割合を占める。

④初診時程度軽症患者の内訳 (平成30年合計値)

初診時程度	高齢者以外		高齢者	
	搬送人員	割合	搬送人員	割合
軽症	234,823	67.5%	161,381	42.7%
中等症	97,470	28.0%	179,567	47.5%
重症	10,601	3.0%	22,510	6.0%
重篤	844	0.2%	4,986	1.3%
死亡	4,376	1.3%	9,870	2.6%
合計	348,114	100.0%	378,314	100.0%

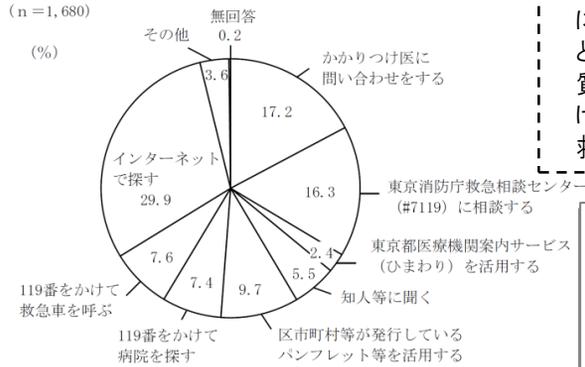


■初診時程度軽症患者の割合について、65歳以上の高齢者では42.7%を占め、高齢者以外では、67.5%を占めている。

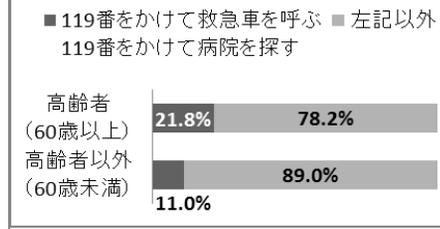
2 医療機関のかかり方について

出典:「健康と保健医療に関する世論調査(平成28年10月調査)」東京都生活文化局

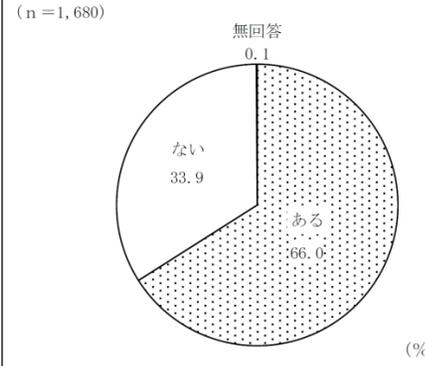
①夜間や休日に医療機関を探す手段



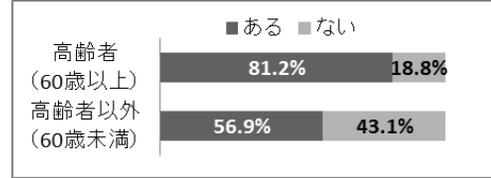
■「夜間や休日に何とか自力で医療機関に行ける程度の体調不良となった場合、どのようにして医療機関を探すか」という質問に、都民の約15%が「119番をかけて病院を探す」又は「119番をかけて救急車を呼ぶ」と回答した。(①)



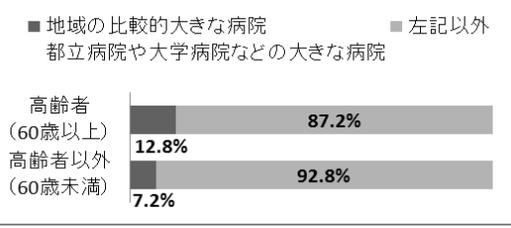
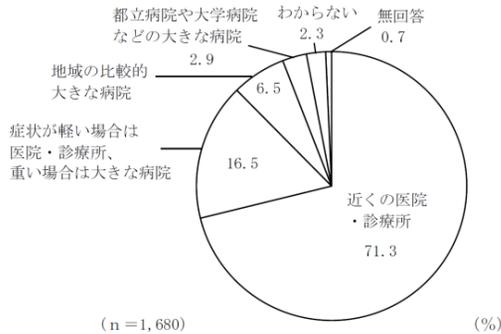
④かかりつけ医について



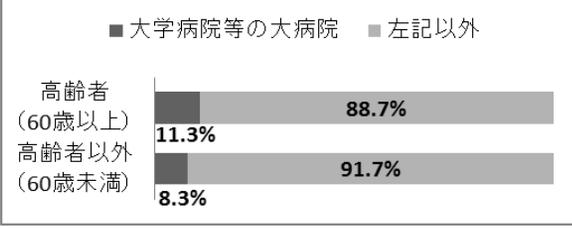
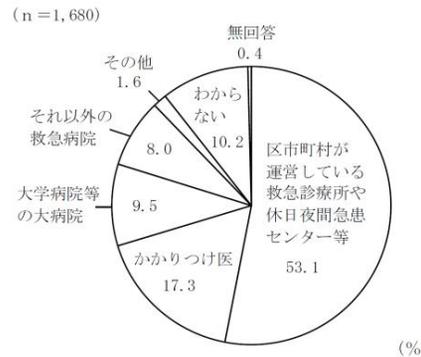
■都民の66%は「かかりつけ医」を持っている。(④)
 ■一方、夜間や休日に何とか自力で医療機関に行ける程度の体調不良時にかかりつけ医を受診すると答えた人は、17.3%であり、平成23年度調査時の34.1%から減少している。(③)



②最初に受診する医療機関



③夜間や休日に最終的に受診する医療機関



■「体の不調などで医療機関に係る場合、まず最初にどの医療機関にかかるか。」という質問に対し、都民の約10%が、最初に「地域の比較的大きな病院」又は「都立病院や大学病院などの大きな病院」にかかる」と回答した。(②)

■また、夜間や休日に何とか自力で医療機関に行ける程度の体調不良時に、約10%が最終的に「大学病院等の大病院」等を受診先として選択した。(③)

健康と保健医療に関する世論調査(平成28年10月調査)

- 調査対象: 東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- 標本数: 3,000標本(うち、有効回収標本数1,680(56.0%))
- 標本抽出方法: 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- 調査方法: 調査員による個別訪問面接聴取法
- 調査期間: 平成28年10月21日~11月6日